

利用者からの報告

技術×安全

～はじめてのガラス細工～

巖樫 昌子 (いつかし まさこ)

所属：理学部 化学科 物理化学2研究室

専門分野：レーザー化学

趣味：趣味探し中です



今回は、基本的なガラス細工の講習として、1回目には半日かけてマドラー制作をし、2回目では2日間午後の間にガラス管細工を体験しました。

1回目のマドラーでは、まず、火をつけるところから始まるのですが、バーナーの意外な強さと音に驚いて、のけぞりながら着火しました。

その後、センターの職員さんが、目の前でイルカのマドラーを簡単に作って見せてくださりました。私を含めた参加者は、同じように作ってみようとするのですが、ちょっとでも熱する時間が長いと、柔らかくなりすぎて思うように細工できませんし、逆に、熱するのが足りないと、火からおろした途端に固まってしまいます。しかし、試行錯誤するうちに、だんだんとコツを掴めてきて、最終的には、満足できる



図1 1回目の時に制作したマドラー

マドラーが2本出来上がりました。しかし、家に持って帰って見てみると、歪みが大きかったのか、見事にヒビが入っていて、少しがっかりしました。

2回目の時は、さらにレベルアップしたガラス管細工です。最終的にはT字管を目指すのですが、中身が詰まっているガラス棒と違い、管はさらに扱いが難しく、なかなか思ったように、1本目の管に横穴があきません。また、うまい具合に2本目も接着できたかと思っても、小さな隙間が空いていると、その穴はどんどん大きくなってしまい、取り返しがつきません。やっとの思いで綺麗なT字管が出来上がる頃には、ずいぶん細工の腕も上達していました。

今回の体験で、ガラス器具をより大切に使うという意識がより高まりました。また、今後自らの実験において、必要な器具を自分で作る機会に出会ったときに、安全にガラス細工がで

きる事が重要です。最初はガラス細工ということで、楽しみにしていたのもあり、浮き足立った気分で作業に臨みそうなところでしたが、安全面において、重点を置いた内容となっており、身の引き締まる思いで学ばせていただきました。